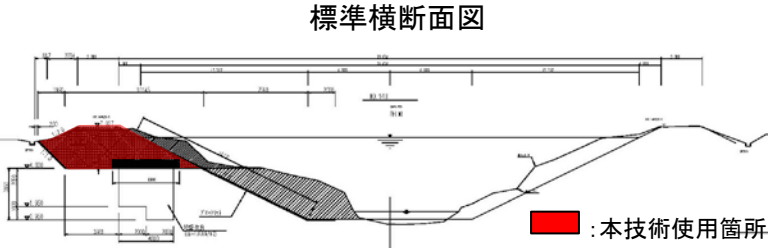


活用調査表

様式6

技術名		汚泥再資源化防草材（ユニ・ソイル）		登録 No.	20D1003
施工内容					
施工年度	平成26年				
発注機関	上越地域振興局地域整備部				
工事名	一級河川飯田川 流域治水対策河川（一級）暫定掘削・護岸				
施工地	上越市川端地先				
施工数量	9,260m3				
新技術の概要					
建設汚泥(無機性汚泥)から再生した再資源の強度変化が少なく、CBR特性・粘性特性等に優れる性質に着目し、国土交通省とのフィールド実験を実施した結果、約3年間に渡って植樹帯での植樹に影響を与えずに他の雑草を抑制することが可能な防草材として活用頂ける技術となります。					
トライアル工事での評価結果					
比較した従来技術		現場発生土のセメント改良工			
項目	評価	評価内容			
経済性	◎	同一管内の最安価の購入土(土場渡し)と比較し、経済性に優れる。			
工程	□	従来技術と同等。 (従来技術と施工形態が同様)			
品質 出来形	○	材料が細粒で仕上がり良好。			
安全性	□	従来技術と同等。 (従来技術と施工形態が同様)			
施工性	○	覆土材料としても使用できる材料のため、別途の材料調達(粘性土等)が不要。			
環境	○	樹木の生育を阻害せず、雑草のみを抑制できる。			
その他	雑草の抑制効果が期待できる。				
◎:優れている ○:やや優れている □:従来技術と比べて同程度 △:やや劣っている ×:劣っている					
活用上の留意点	材料が水を多く含むと、転圧が困難となるので、現場ストックする場合は養生が必要。				
新技術問い合わせ先					
会社名	株式会社 アイシン				
所属部課	企画開発部				
担当者	岩渕 武史				
TEL	025-543-9055				



標準横断面図

■: 本技術使用箇所



着手前



完了



完了(全景)